



令和三年
神と仏に出会う春



戸隠神社式年大祭

●とがくしじんじゃしきねんたいさい

Togakushi

【数え年で七年に一度の神事】

令和三年 四月二十五日(日)〜五月二十五日(火)

戸隠神社は奥社(本社)・九頭龍社・中社・火之御子社・宝光社の五社から成り、昔は奥社(本社)まで御神輿が渡御されておりました。現在の式年大祭では宝光社の神様が、御父神である中社の神様のもとに渡御され父子のご対面をされます。

戸隠の始まりは奥社(本社)にあり、神様も多くの人々も里から戸隠山の麓に向かって足を進めました。その姿が式年大祭の原点であり、「式年大祭」の中にそのすべてが生き続いています。

渡御の儀 (とがくしのまひ)

神輿にご神体を戴き、三キロの道中を約二時間かけてゆつくりと賑々しく行列が進みます。神楽、神楽装束、稚児、獅子神楽などが連なり、豪華絢爛です。



ながの縁を
信都・長野市